

平成18年5月19日発表

平成17年

## 農業物価指数（鹿児島）

### 【調査結果の概要】

#### 1 農産物価格指数

平成17年の農産物価格指数（平成12年を100とする。以下同じ。）の総合は110.7となり、前年に比べて1.4%上昇しました。

#### 2 農業生産資材価格指数

平成17年の農業生産資材価格指数の総合は105.6となり、前年に比べて1.3%上昇しました。

図1 農業物価指数（平成12年 = 100）の動向

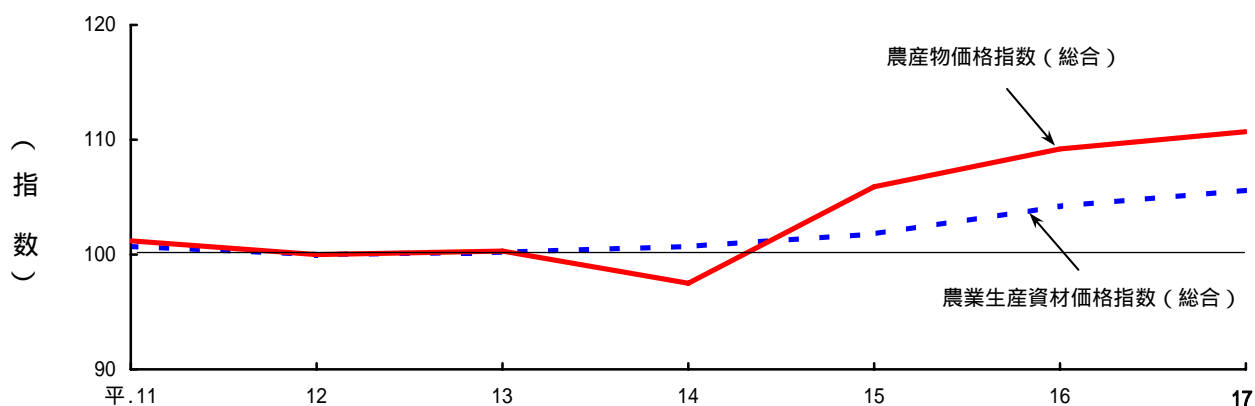


表1 農業物価指数の推移

平成12年 = 100

区分	指数	年次						
		平.11	12	13	14	15	16	17
農産物 （総合）	指数	101.2	100.0	100.3	97.5	105.9	109.2	110.7
	対前年騰落率(%)	4.2	1.2	0.3	2.8	8.6	3.1	1.4
農業生産資材 （総合）	指数	100.7	100.0	100.2	100.7	101.8	104.2	105.6
	対前年騰落率(%)	2.7	0.7	0.2	0.5	1.1	2.4	1.3

この資料は鹿児島農政事務所ホームページ

【<http://www.kagoshima.info.maff.go.jp/index.htm>】

の「数字で見る農林水産業」で御覧いただけます。

E-mail kagoshima\_info@kyushu.maff.go.jp

平成17年の農産物価格指数の総合は110.7となり、前年に比べて1.4%上昇しました。  
また、農業生産資材価格指数の総合は105.6となり、前年に比べて1.3%上昇しました。

## 1 農産物価格指数

農産物価格指数の総合は110.7となり、前年に比べて1.4%上昇しました。  
これは、主に野菜、畜産物等の価格が上昇したことによります。

主な類別の動向についてみると、次のとおりです。

(1) 米は、6.0%低下しました。

これは、普通水稻において、台風第14号の影響や出穂期以降の天候不順による品質低下から、価格が低下したことによります。

(2) 野菜は、13.8%上昇しました。

これは、主に早春野菜が前年秋の初期生育時に台風被害を受けたほか、2～3月の低温による出荷の遅れや出荷量の減少から、価格が上昇したことによります。

(3) 果実は、21.5%低下しました。

これは、みかんが表年であったことや台風等の被害が少なかったことから出荷量が増加し、価格が低下したことによります。

(4) 工芸農作物は、12.9%低下しました。

これは、さとうきびが前年の台風被害により低糖度となったことや、茶が春先の低温で出荷遅れとなったことなどにより、価格が低下したことによります。

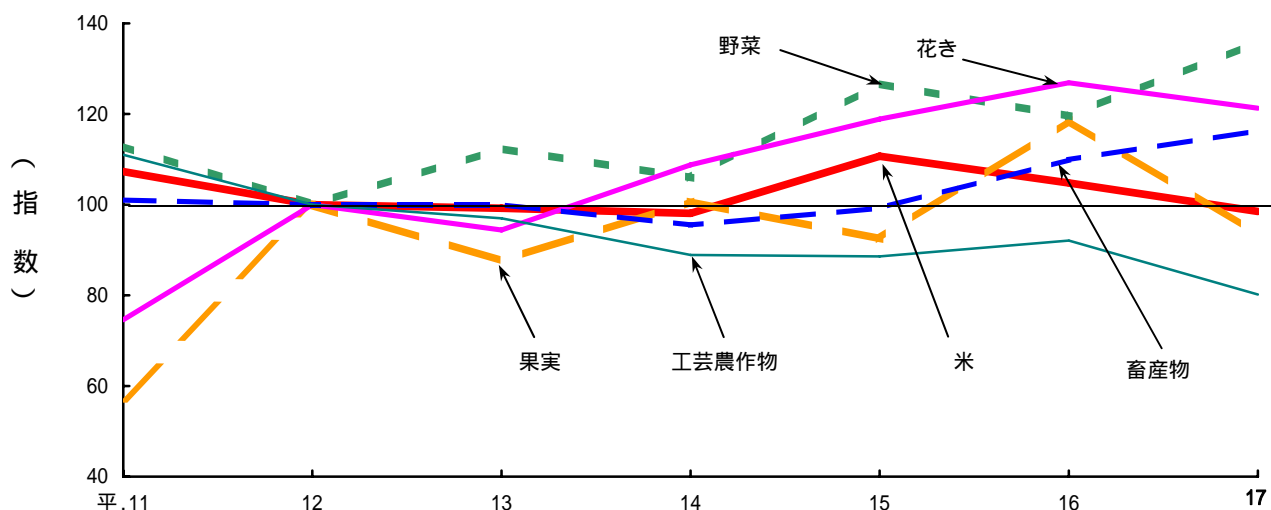
(5) 花きは、4.4%低下しました。

これは、きく等で1～3月頃までは高値で推移したものの、4月以降、おおむね天候に恵まれたことから出荷量が増加し、価格が低下したことによります。

(6) 畜産物は、5.8%上昇しました。

これは、米国産牛肉の輸入停止の影響による肉畜価格の上昇や、上半期の鶏卵価格が生産量の減少により上昇したことなどによります。

図2 主な農産物の価格指数の推移（平成12年=100）



## 2 農業生産資材価格指数

農業生産資材価格指数の総合は105.6となり、前年に比べ1.3%上昇しました。これは、主に光熱動力、肥料等の価格が上昇したことによります。

主な類別の動向についてみると、次のとおりです。

(1) 畜産用動物は、1.7%上昇しました。

これは、肉畜の枝肉価格が高値で推移していることにより、肥育用もと畜の価格が上昇したことによります。

(2) 肥料は、2.7%上昇しました。

これは、輸入原料価格の上昇や原油価格の高騰による生産コストの上昇等によります。

(3) 飼料は、3.3%低下しました。

これは、穀物輸出国の作柄が良好であったことから、外国産穀物相場が低下したことによります。

(4) 農業薬剤は、2.1%上昇しました。

これは、生産コストの上昇や原料価格の上昇等によります。

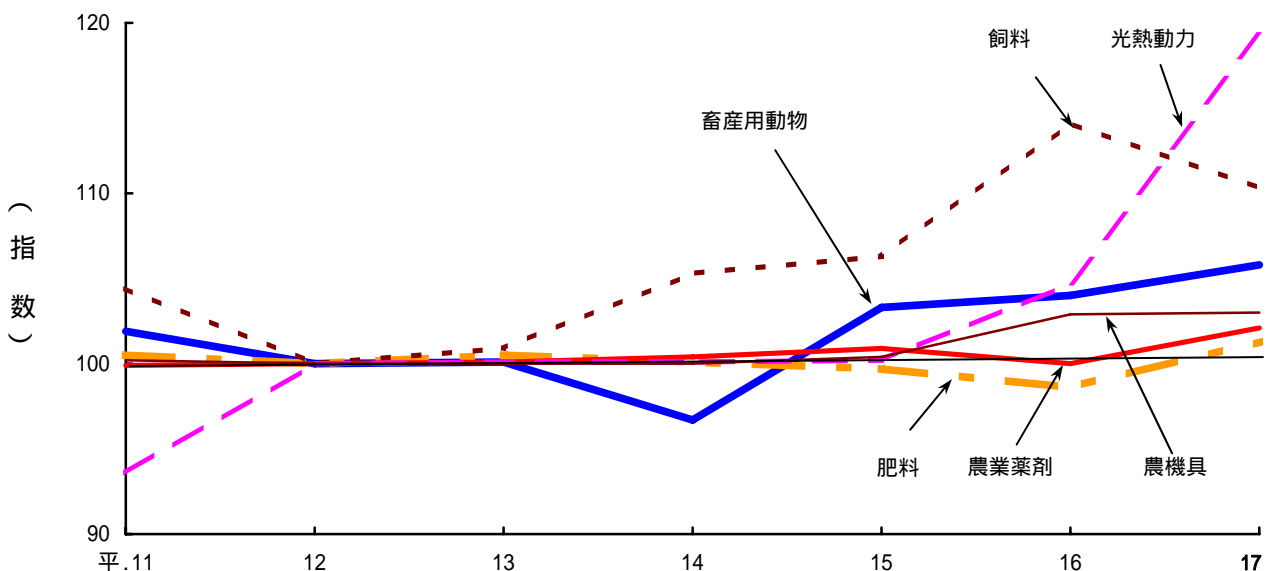
(5) 光熱動力は、13.9%上昇しました。

これは、原油価格の高騰により軽油、ガソリン等の燃料価格が上昇したことによります。

(6) 農機具は、0.1%上昇しました。

これは、製造コストの上昇による大農具の価格見直しによります。

図3 主な農業生産資材の価格指数の推移（平成12年=100）



## 【統計表】

### 1 農産物価格指数（平成12年=100）

区 分	ウエイト	平.11	12	13	14	15	16	17	対前年 騰落率(%)	全 国 騰落率(%)
農産物（総合）	10 000	101.2	100.0	100.3	97.5	105.9	109.2	110.7	1.4	5.7
米	926	107.3	100.0	99.2	98.1	110.7	104.8	98.5	6.0	10.3
豆	3	98.8	100.0	100.0	100.0	100.0	112.7	126.2	12.0	5.2
い も	471	104.7	100.0	86.9	87.5	119.3	102.0	112.9	10.7	6.8
野 菜	2 247	112.9	100.0	112.4	105.9	126.7	119.5	136.0	13.8	9.1
果 菜	846	83.9	100.0	119.2	110.1	128.5	114.2	134.5	17.8	3.3
葉 茎 菜	506	144.5	100.0	122.2	111.0	133.4	137.3	166.2	21.0	14.0
根 菜	485	108.4	100.0	97.9	97.0	124.1	106.3	108.7	2.3	15.1
まめ科野菜	410	112.3	100.0	103.4	101.8	117.9	124.0	134.4	8.4	12.3
果 実	672	57.2	100.0	87.5	100.7	92.4	118.7	93.2	21.5	8.9
工 芸 農 作 物	1 927	111.0	100.0	97.0	88.9	88.6	92.1	80.2	12.9	3.9
花 き	517	74.6	100.0	94.4	108.8	118.9	126.9	121.3	4.4	4.7
畜 産 物	3 228	101.0	100.0	100.0	95.5	99.2	109.9	116.3	5.8	3.7
鶏 卵	180	98.7	100.0	87.5	88.0	76.6	93.9	107.8	14.8	18.8
生 乳	139	102.6	100.0	103.5	103.8	103.6	103.4	99.1	4.2	1.2
肉 畜	2 325	104.4	100.0	102.3	97.2	99.0	109.9	115.8	5.4	4.1
子 畜	580	96.9	100.0	93.4	89.0	105.7	116.1	125.1	7.8	7.4
成 畜	4	101.8	100.0	106.0	95.5	106.5	110.3	118.4	7.3	6.5
稲わら及びわら加工品	9	92.7	100.0	103.0	92.8	92.3	92.3	92.3	0.0	0.2

### 2 農業生産資材価格指数（平成12年=100）

区 分	ウエイト	平.11	12	13	14	15	16	17	対前年 騰落率(%)	全 国 騰落率(%)
生産資材（総合）	10 000	100.7	100.0	100.2	100.7	101.8	104.2	105.6	1.3	1.1
種 苗 及 び 苗 木	317	99.2	100.0	99.8	99.1	99.3	97.2	98.1	0.9	0.4
畜 産 用 動 物	976	101.9	100.0	100.1	96.7	103.3	104.0	105.8	1.7	4.7
肥 料	933	100.5	100.0	100.5	100.1	99.7	98.6	101.3	2.7	2.4
飼 料	2 004	104.4	100.0	100.9	105.3	106.3	114.1	110.3	3.3	2.3
農 業 薬 剤	673	99.9	100.0	100.1	100.4	100.9	100.0	102.1	2.1	0.4
諸 材 料	621	98.3	100.0	100.5	99.7	99.6	100.2	100.6	0.4	1.0
光 熱 動 力	1 187	93.6	100.0	100.1	100.1	100.2	104.7	119.3	13.9	12.1
農 機 具	1 359	100.2	100.0	100.0	100.0	100.4	102.9	103.0	0.1	0.4
自動車・同関係料金	369	103.6	100.0	100.1	100.1	100.1	101.5	102.0	0.5	0.4
建 築 資 材	838	99.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	95.9	4.1	0.1
農 用 被 服	56	100.3	100.0	100.0	100.0	100.0	99.0	98.6	0.4	0.0
賃借料及び料金	667	100.0	100.0	98.8	100.0	101.0	102.6	104.1	1.5	0.6

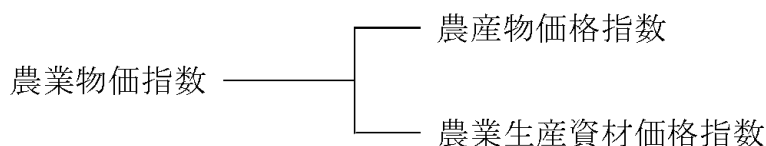
## 【調査の仕様】

### 1 指数の性格

農業物価統計調査は、農家が販売する農産物の生産者価格及び農家が購入する農業生産資材価格を把握し、農業における投入・産出の価格変動を測定するものです。

### 2 指数の編成

指数の編成は、次のとおりです。



### 3 指数の作成方法

#### (1) 基準時

基準時は、平成12年（暦年）1か年としました。

#### (2) 指数採用品目

指数に採用した品目は、農産物61品目、農業生産資材135品目です。

#### (3) ウェイト

平成12年基準の農業物価指数作成のためのウェイトは、平成12年農業経営統計調査「農業経営動向統計」結果の販売農家1戸当たりの農産物品目別販売金額及び生産資材品目別支出金額から作成しました。

#### (4) 基準時価格

基準時価格は、農産物価格及び農業生産資材価格については農業物価統計調査による平成12年の平均価格としました。

なお、平均価格は次の方法で算出しました。

#### ア 農産物価格

農産物価格は、品目別に定めた月平均価格に平成11・12年の該当月の出荷量によるウェイトを乗じて月平均価格を求め、さらにこの月平均価格に月別出荷量ウェイトを乗じて、年平均価格を算定しました。

## イ 農業生産資材価格

農業生産資材価格は、平成12年の農業生産資材価格調査の調査品目の月平均価格の単純平均により月平均価格を求め、さらに1月から12月までの12か月を単純平均して年平均価格を算出しました。

### (5) 価格資料

農産物価格は、農産物のうち野菜については毎月5日、15日現在、野菜以外の農産物については毎月15日現在の農家受取価格を調査しました。

生産資材価格は、毎月15日現在の小売価格を調査しました。

さらに、農産物及び生産資材の品目別価格の騰落に著しい変動、もしくは変動が想定され通常の調査日の価格が当該月の価格を代表すると見なせない場合にあつては、毎月5日、15日、25日の月3回の平均価格としました。

なお、月平均価格及び年平均価格については、基準時価格と同様の方法で算出しました。

### (6) 算式

指数の算式は、ラスパイレズ式（基準時加重相対法算式）としました。

### (7) 統計表中の「△」はマイナスを示します。

- この統計調査結果の詳細は、平成19年3月刊行予定の『鹿児島農林水産年報』に掲載します。
- この統計調査結果は、九州農政局鹿児島農政事務所ホームページ中の「数字で見る農林水産業」に掲載しています。【<http://www.kagoshima.info.maff.go.jp/index.htm>】

### 【 関連リンク 】

農林水産施策関係ページ：農林水産省＞農林水産施策について＞基本

【<http://www.maff.go.jp/kihon.html>】

林業施策関係ページ：農林水産省＞農林水産施策について＞林野

【<http://www.maff.go.jp/rinya.html>】



### 問い合わせ

#### ◎本統計調査結果について

連絡先：九州農政局鹿児島農政事務所統計部  
経営・構造統計課 経営統計第2係  
電話：(直通)099(222)7590  
FAX： 099(224)1501

#### ◎農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局鹿児島農政事務所統計部  
統計企画課 企画係  
電話：(直通)099(222)7523  
FAX： 099(224)1501